



たてやま

議会だより



球春、それいけ ダッシュ!!



上東ジュニアベースボールクラブ

平成19年
3月定例会

議会役員改正	2P
一般質問 9名が登壇	3P
常任委員会の審議	8P

No. 27

2007.5.1

発行/立山町議会
責任者/議長村井隆夫
編集/広報特別委員会

一般質問

知りたいこと

望むこと

3月定例会で行われた一般質問です。
 くわしくは、図書館や議会事務局に
 議事録があります。
 ホームページでもアクセスできます。
<http://www.town.tateyama.toyama.jp/>

米田俊信議員



新年度予算を問う

議員 予算編成を終えての思いは。

堅実型予算に

町長 緊急の課題には的確に対処できるよう財源の重点配分を行い、堅実型予算とした。管理職の職員に対し給料の3%削減や、補助金の見直し、事務費や施設管理費、内部管理費の抑制に努め、また、町税徴収率の向上で財源確保を図った。

土地利用計画を

議員 企業誘致をすすめるにあたって、総合的な土地利用計画をたてるべきと考えるがどうか。

連絡会議を設置

町長 都市地域や農業地域を定め、計画との整合性、道路や河川等の整備計画との連携が重



企業誘致予定地

学校メンテナンスは

議員 学校メンテナンスの早期着工の考えは。

一口も早く整えたい

町長 未来を担う子供達に、充実した教育環境を一日も早く整えたい。その財源の確保については、固定資産税率の改正を考えている。今後、町民の皆様や法人の皆様にあらゆる機会を通して説明し、理解を求めたい。

農林課の復活を

議員 町の基幹産業は農業であり、今は大転換期である。農林課を復活させる考えは。

今年度検討

町長 立山町は、良質米生産地で農業は基幹産業と考えている。農の文字が入った課が設置できるかどうか、19年度で行政・議会の皆様と相談し、検討したい。

ご挨拶

議長 村井隆夫



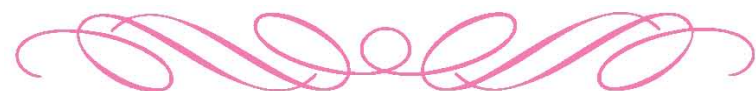
この度、2月町議会臨時会におきまして、同僚議員全員のご推挙をいただき、議長の要職に着くことになりました。

私にとりましては、誠に光栄であると共に、その責任の重さを痛感する次第でございます。

今日のわが国は、地方分権という地方政治の流れを変える転換期であり、少子高齢化も益々進み、多方面にわたり課題を抱えています。市町村合併で県内の町村が26から5に減りました。合併を選ばなかったわが町が生き残るには、地域の特徴を生かす必要があります。

立山・黒部アルペンルートの年間入り込み数を120〜130万人台に回復をめざし、企業誘致や道路開発、文化振興にも力を注ぎたいと思っています。

未来を支える子どもたちが、「この町に生まれて良かった」「この町で生活出来て良かった」と言ってくれる立山町にするため、今後も町民の皆様と共に、汗をかき、知恵を出して、元気で幸せな町づくりのために前進していかねばならないと考えています。町民の皆様の一層のご協力ご指導をお願い申し上げます。



2月9日より新役員にて発足

議長	村井隆夫	副議長	長	窪田一誠
総務教育常任委員会 (7人)	正 坂井立朗 副 佐藤康弘	細川均 米田俊信	後藤智文 高嶋清光	町田信子
産業厚生常任委員会 (7人)	正中川光久 副 伊東幸一	石川孝一 村田昭	桑原米蔵 村井隆夫	窪田一誠
議会運営委員会 (6人)	正 村田昭 副 坂井立朗	町田信子 米田俊信	窪田一誠 高嶋清光	
監査委員 (1人)	桑原米蔵			
立山自然保護特別委員会 (7人)	正 村田昭 副 細川均	坂井立朗 中川光久	窪田一誠 高嶋清光	米田俊信
議会広報特別委員会 (7人)	正 桑原米蔵 副 町田信子	佐藤康弘 後藤智文	伊東幸一 村井隆夫	石川孝一
富山地区広域圏事務組合議会議員 (2人)	窪田一誠	村井隆夫		
富山地域衛生組合議会議員 (3人)	後藤智文	桑原米蔵	村田昭	
中新川広域行政事務組合議会議員 (5人)	坂井立朗 高嶋清光	窪田一誠	村田昭	中川光久
滑川中新川地区広域情報事務組合議会議員 (3人)	細川均	町田信子	米田俊信	
町都市計画審議会委員 (2人)	伊東幸一	中川光久		
民生委員推薦会委員 (2人)	村田昭	中川光久		

佐藤 康弘 議員



立山インター周辺の開発は

議員 開通以来今日まで、インター周辺は代わり映えないが、今後の開発はないが、今後の開発は、

産業と観光を同時に振興

町長 産業と観光を同時に振興する方向で進めていき、特徴的なインター周辺にしたい。町の農産物と結びついた食品関係企業の集積ができれば、農業の振興にもつながる。今後、地元意向を充分に聞き、町全体の土地利用計画を策定する中に反映させ、一帯の企業誘致を迅速に進めたい。

学校給食の意義と食育は

議員 学校における給食の意義と、食育の場としての取り組みは、

あらゆる機会に指導する

教育長 給食の大切さや日常生活における食事について、



立山インター

て、正しい理解と望ましい習慣を養い、食生活の栄養バランスの改善及び健康の増進を図りたい。新年度から、立山産米を取り入れた米飯給食を町内の全小・中学校で実施する。「地産地消」を進めるために、各学期ごとに地域の新鮮な食材を活用した献立を作成し、生産者の協力を得ながら、子どもたちの成長・健康のための給食に取り組みたい。

高嶋 清光 議員



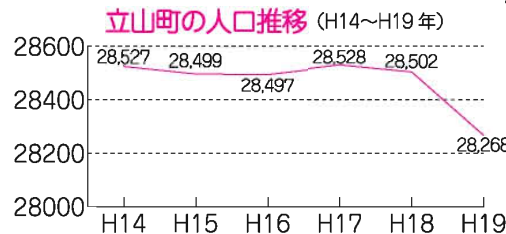
議員 平成19年度の予算評価は、

町長 今やるべき政策を反映させたが、(仮称)北部保育所建設は地元調整に時間がかかり計上できなかった。

議員 各種補助金を大幅にカットしたが、町が出来ないことも町民によって町を発展させる補助金もあるのではないかと。

転出者に占める若年層の割合

転出者総数	H18.4~H19.1末	
	うち20~30歳代 (うち富山市へ転出)	比率
609人	388人 (186人)	63.7% (30.5%)



町長 180項目にわたる補助金を見直した。効果的・効果的な支援を行った。
議員 町の人口が町長就任1年間で急激に減少。特に若人の減少が大きい。
町長 人口減少時代を迎え、地域間競争の時代が到来した。
議員 地域によっては、人口減少率が高く格差社会が出てきた。減少地域に町営住宅は、
町長 一部の地域を除き、全町的な状況となっている。新規町営住宅は、今後建設する予定はない。

議員 3月号広報「教育環境の整備を図ります」とあるが、議会制民主主義の観点から議会に提案が必要ではないかと。また、町税を上げるには十分な協議をされていない。これは町長の後援会だよりに載せるべきではないかと。
町長 あらゆる機会を通じて説明責任を果たしたい。



19年度予算に関連して

議員 行財政改革の基本的な考え方と取り組みは、
町長 総務省が示した指針を参考に地域民間給与の反映、手当ての見直し、事業の民営化、施設の廃止統合、バランスシート、コスト計算書、情報開示などを住民に公表していく。

議員 町の財政見直しは、

町長 景気回復により町税収入は増加が見込まれる一方、地方交付税は一定の割合で減少していくと見込まれる。

議員 三位一体による町への影響力は、
町長 3億2千万円が所得税から町民税に税源移譲されるが、2億4千万円の所得譲与税がなくなることから差額8千万円が増収になる。しかし、増えた8千万

入札制度改革

円が交付税から減額されるので差し引き0になる。

議員 一般競争入札を導入するにしても、地元事業の育成と町民の働く場の確保の為、ある程度までは指名競争入札をすとか、町内業者が参加しやすい制限をするなど町独自の配慮が必要ではないかと。また、レベルの高い技術者を育てることや、災害時には地元業者と住民の信頼関係も必要だと

議員 一般競争入札を導入するにしても、地元事業の育成と町民の働く場の確保の為、ある程度までは指名競争入札をすとか、町内業者が参加しやすい制限をするなど町独自の配慮が必要ではないかと。また、レベルの高い技術者を育てることや、災害時には地元業者と住民の信頼関係も必要だと

入札参加条件を検討

助役 今年2月に「入札契約制度検討委員会」を設置した。公正性・雇用確保・業者育成の観点から、除雪・災害等の協力体制も含め入札参加条件について検討している。



町田 信子 議員



保健福祉総合センターの進展状況は

議員 立山町保健福祉総合センターの建設と財源確保の見通しは、

PFI導入可能性調査を実施

町長 3月末を目処として基本構想をまとめる予定である。来年度は従来の公共事業で施設整備等を行う場合と比較して、どの程度事業費が削減されるかを評価することなどを内容とするPFI導入可能性調査を実施したいと考えている。

教職員の健康向上を

議員 教職員などの健康管理体制は、

心の健康も相談

教育課長 富山県では平成18年4月から、これまでの事務職員等に加え、教育職員

子どもたちの夢を

議員 仮称「子どもと未来を語る会」の進行状況は、
町長 対しても医師による面接指導等を実施することになった。心の健康については、「富山県心の健康センター」や「厚生センター」等が窓口となり、相談や診療を行っている。

実施の方向で検討

教育長 高学年の社会科での「生活と政治」、総合的な学習の時間や校外学習を活用しての議会見学、小中学生と町長・町当局が自由に意見発表できる場としてのミートイング等を開催できないか考えている。町の校長会を通じて、子どもたちの思いや夢に沿う名称等も含め、19年度実施の方向で検討させていただきたい。



子どもたちに夢を (14歳の挑戦)

石川孝一議員



「道の駅」を立山町に

議員 町の活性化と回遊性のあるまちづくりの起点として、「道の駅」設置の検討を。地場産品の紹介や販売、町の文化施設・観光施設の紹介など、立山町の特色を生かし、五百石商店街への回遊性や、訪れたくなるまちづくりの核に。

必要性を研究

建設課長 「道の駅」は休憩、情報提供、地域振興の各機能を併せ持つ施設であり、道路管理者と地元市町村で協力し整備することになる。その場合、駐車場・トイレ・案内所・交通量などの条件もある。町として地場産品の紹介や、販売ができる施設の必要性を研究したい。

議員 町の業務の民営化や委



新鮮な魚が並ぶ道の駅(氷見)

託化が進み、また役場業務に恒常的な臨時職員の配置も多くなっている。財政再建が優先し安心安全が損なわれないよう、また、町民生活のレベルが低下しないようにすべきだ。安いだけが行政サービスではない。社会的公正を失わないよう事業実施に際し配慮を。

公正・適正な契約に努力

助役 町民会館など十施設を指定管理者制度で委託している。契約には「公正性」「価格の経済性」「履行の確実性」及び「手続きの透明性」が挙げられる。

公共工事においても、価格以外の多様な要素も考慮して契約される総合評価方式が各自自治体で導入されている。町でもこの総合評価方式を早期に施行・導入できるように検討している。

後藤智文議員



福祉の心の欠如では

議員 福祉や教育の補助金を削るのは、福祉の心の欠如ではないか。

広い意味での福祉

町長 私達が目指す福祉は、狭い意味での福祉ではなく、広い意味での福祉を指している。

医療費の無料化を6年生まで

議員 子育て支援のために、また、定住促進のために小学校6年生までの医療費の無料化を図るべきではないか。

考えにくい

町長 ひっ迫する町財政と県の制度の見直し状況を見定めた。現段階では対象年齢の引き上げは考えていない。

名前は書かないで

議員 全国学力テストの実施にあたって、アンケートも取られる。受験産業が採点・集計をすることから、個人情報漏れると危惧されている。名前は書かないで実施すべきではないか。

名前の記入は必要

教育長 学校を通じて各児童生徒に対し、設問ごとの正答や誤答の状況が分かる個票を返却することとしている。そのためにも名前の記入は必要なものと考えている。



すこやかに育て子どもたち

伊東幸一議員



立山町の森づくり

議員 「緑が地球を救う、ふるさとの森」緑を子孫に受け継いでいくことが求められる今こそ、地域の特性に応じた森づくりの推進を。

里山再生事業の実施

産業観光課長 富山県森づくり条例において、地域の生活に密着した「里山整備事業」や杉と広葉樹の混交林に誘導する「みどりの森再生事業」などが行われる。



里山再生のイメージ図

町では、里山林において雑木や竹林などを伐採して野生生物との棲み分けを行うための「里山再生事業」を実施したい。

農業経営基盤強化

議員 品目横断政策と併せて「農地・水・環境保全向上対策」が措置されたことは大いに評価される。18年度実験事業の結果は。

地域を見直す機会

産業観光課長 農地・水・環境保全実験事業の状況は区長を中心に、地域総ぐるみで、農地や水路、農道の草刈りや花壇づくり等環境向上活動を地区全体で取り組んでいる。非農家の方の協力や世代間交流の場として地域を見直す機会となっている。

財団法人立山グリーンパークの事業の概要は

議員 指定管理者制度を導入して魅力ある施設に努力されているが、公益性を含め事業の概要は。

経営は厳しい状況

町長 施設の老朽化、維持修繕費の増加や燃料費の高騰による経費の増加、また利用者の減少など、厳しい状況。財団では人員の見直しや経費の節減など合理化に取り組んでいる。

中川光久議員



町長就任1年の評価は

議員 町長就任1年を振り返り、町政運営の評価はどうか。

順調に進んでいると思う

町長 コンパクトで公正なまちづくりを目指して、安心力、教育力とも順調に進んでいると思う。

世界遺産登録への推進を

議員 立山黒部地域での世界文化遺産登録に向けて、町ではどんな連携・協力をしていくのか。

県と連携し調整を

助役 5月をめどに、文化遺産の課題調整を行い、世界遺産暫定一覧表への候補提案書を作成予定で、県と連携を密接にして作業を進

める。

農地、水、環境保全対策は

議員 農地、水、環境保全向上対策の取り組み状況は。

27地区から実施希望

産業観光課長 27地区から約1000ヘクタールの実施希望があり、計画書作成の中で、農村の在り方を地域で考える重要な事業だ。

乗合ワゴン車の試行成績は

議員 乗合ワゴン車の試行運転結果は。

乗車利用率は、良くない

企画政策課長 2月末までの利用率は、3路線の平均で65%で、1便あたりの乗車は1.3人という結果で、検討課題があると考えられる。



日本最古の山小屋「室堂」(国指定重要文化財)

設置



日中上野小学校プール

悪質滞納者 90名サービス制限

Q 「ふれあいセンターあしくら」の工事理由は、
A 有効利用を考え、食堂経営等を予定している方を公募し、月額6万円から7万円貸し出すための、破損箇所の補修工事費。
Q 町有地の売却は考えていないか。
A 新年度予算に町有地処分として、前沢区画整理の保留地約240㎡について予算計上した。
Q 選挙備品の購入と看板の再利用は。
A 備品は車椅子等で投票に求められる方の、スロープをそろえたい。看板の再利用はアルミ製と比べ、現在使用しているベニヤの費用が安く、さらにリサイクルしている。

Q 町有地の売却は考えていないか。
A 新年度予算に町有地処分として、前沢区画整理の保留地約240㎡について予算計上した。
Q 選挙備品の購入と看板の再利用は。
A 備品は車椅子等で投票に求められる方の、スロープをそろえたい。看板の再利用はアルミ製と比べ、現在使用しているベニヤの費用が安く、さらにリサイクルしている。

Q 町有地の売却は考えていないか。
A 新年度予算に町有地処分として、前沢区画整理の保留地約240㎡について予算計上した。
Q 選挙備品の購入と看板の再利用は。
A 備品は車椅子等で投票に求められる方の、スロープをそろえたい。看板の再利用はアルミ製と比べ、現在使用しているベニヤの費用が安く、さらにリサイクルしている。

Q 学校施設整備事業の2千万円は。
A 日中上野小学校のプールの修理に1千万円、残り1千万円は児童の学校生活での安全対策を優先して、手すりの取り付けや、防犯カメラの設置等を行う。
Q 学校司書の配置計画は。
A 雄山中学校と立山中央小

消防署

Q 人の集まる施設での危険箇所等の調査、指導は。
A 養護老人ホームやホテル、量販店など、多くの人が入り込む場所については、1年に2回以上、工場等も立ち入り検査を行い、法令に沿った指示書を出している。町にはデイサービス施設15箇所、知的障害者の施設が2箇所ある。

税料金課

Q 悪質滞納者の数、及び滞納状況は。
A 町税4税目の滞納額は、2億2千万円余りである。また保育料は130万円余、住宅使用料は470万円余りの滞納もある。滞納者数の内訳としては、法人も含めて665人で、内訳は町内433人、町外232人であり、サービス制限の対象となる悪質滞納者は90名程度が該当する。

こんな質問もありました

- ・農振除外手続の円滑化。総合雨水対策。
- ・布橋灌漑会。
- ・利田小学校駐車場の確保。国保特別会計の退職者医療の18年度実績と今後の見込み。
- ・携帯電話の不感地帯解消。中山間地域若年世帯定住促進事業。中山間地域周辺地区住宅団地造成事業を19年度も継続を。
- ・「町税等の滞納に対する行政サービス等の制限措置に関する条例の制定」で制限するサービスは。「旧北斗跡地」財産処分、売却価格をどう思うか。
- ・職員の行政組織規則をどのように理解しているか。
- ・職員健康管理は。
- ・市町村合併に関する民意把握の方法は。
- ・教職員等健康管理体制は。妊婦無料健診の回数拡大を。
- ・広域消防推進の目的と効果は。

投票所にスロープ 車イスでも楽に入れます

建設課

Q 町単独道路改良事業について、予算減額となっているが地区の要望に応えられるか。
A 減額しているが、町単独事業として行っていた約10路線については、地方道路整備臨時交付金事業で行うことに変更、事業縮小ではない。

Q 都市計画路線は見直しの時期に来ていると思うが、富立大橋が出来たことにより交通の流れが変わった。計画街路の見直しが必要になってくる。
Q 里山再生整備事業、緑の森再生事業の内容は。
A 昨年クマが出没した段丘地帯の雑木を中心に除伐し明るくしたい。奥山については杉の手入れがされていない所について混交林にしていく予定である。

産業観光課

Q 里山再生整備事業、緑の森再生事業の内容は。
A 昨年クマが出没した段丘地帯の雑木を中心に除伐し明るくしたい。奥山については杉の手入れがされていない所について混交林にしていく予定である。

農地・水・環境保全対策

Q 農地・水・環境保全対策事業は20年度からでも事業実施は可能なのか。
A 19年度から始まる5年間の継続事業である。20年度からだと最後の1年は助成金の対象とならない。
Q 土づくり推進事業についてどんな助成内容なのか。
A 水稲だけの作付の場合、有機堆肥等投入に10アール当り1,000円。麦・大豆は2,300円。地力増進作物の場合3,600円程度である。

住民環境課

Q 環境センターの職員が4名から2名に減員になっているが。
A 不足分についてはシルバー人材センターを活用している。
Q ごみ収集を価格だけで業者選定することに問題があるのでは。
A 住民に不安感を与えないよう業者指導を行う。価格

健康福祉課

Q 配食サービスについて65歳以上で昼食を準備するのが困難な方が対象になる。事業は社会福祉協議会に委託する予定。
Q 敬老祝品について70歳位に統一すべきでは。
A 予算については、75歳以上で規定されており、一人当り1,000円で積算している。



立山町環境センター

社会教育活動の充実で健全・健康なまちづくりを。

- ・地域福祉増進のために老人会等への支援強化を。
- ・国民健康保険税の短期保険証と資格証明書の発行実態は。
- ・学童保育所と学校放課後子ども教室との関連性は。教師の過重労働が子どもへのしわ寄せになっている。対処方法は。
- ・就学援助案内は全保護者に。
- ・品目横断的経営安定対策から取り残された個人への対策は。
- ・広域圏事務組合の余熱を利用したハウス栽培で町の特産物の育成を。
- ・消防署立山分団の移転問題。
- ・サービス向上を目指し、「一課一サービス」運動を。
- ・直播栽培の進捗状況と不耕起乾田V溝直播栽培の導入と指導計画は。

産業厚生常任委員会

里山は明るく 奥山は混交林に

委員会の審議

総務教育常任委員会

委員会の審議

休刊に寄せて



村田 昭

議会広報には創刊準備第1号から関わり、あつと言う間の9年間でした。休刊号となり、感無量です。初代委員長の吉川前議員にリードしていただき、ありがとうございます。



坂井 立朗

「町民の皆さんに、少しでも解りやすく……。」と、編集に汗を流したことが、なつかしく思い出されます。議員の文章能力の向上にも大いに寄与した広報紙であったと思います。



窪田 一誠

多くの皆さんに愛読されてきた議会だよりも、今回をもって休刊となり、いちまつの淋しさを感じているところです。9年間にわたり、先輩議員にも大変お世話になりました。自分自身も編集にあたり、いろいろ勉強をさせていただきました。本当にありがとうございました。



3月の花

(生け花)

提供者 野村渥子さん
(蔵本新)

あ と が き



今まで住民の皆さんに親しまれてきたこの「議会だより」が、諸般の事情により休刊することになりました。「たてやま議会だより」は、平成12年3月議会報告を創刊号としてスタートいたしました。これに先がけ、前段階として準備号が2回発行されるなど、初めて取り組まれた編集委員の苦勞が目に見えます。今、国をあげての改革が進むなか、わが町もその例外ではありません。議員定数一つとってみても、平成10年の改選時は20人でしたが、平成14年には18人となりました。議員一人ひとりの責任が重くなりました。

また、文章として残すことが少なくなるなかで、この「議会だより」が大切な役割をはたしていると思いますが、時代の流れはインターネットやケーブルテレビの普及により、いたしかたないのかなあ……と思います。

創刊号から27号まで通して、「議会のしくみ」「議会活動状況」など広く知っていただける機会を提供できたことを編集スタッフ一同心よりうれしく思っております。わかりにくいところ、不備な点もあつたかと思いますが、お許しください。今までご愛読くださった町民のみなさんには今後とも議会へのご理解をよろしくお願い申し上げます。(桑原 記)



立山町議会事務局

〒930-0292 富山県中新川郡立山町前沢2440

ホームページ <http://www.town.tateyama.toyama.jp/> [議会会議録] もご覧ください。

- 議会広報特別委員会
- 委員長 桑原米蔵
 - 副委員長 町田信子
 - 委員 佐藤康弘
 - 伊東幸一
 - 石川孝一
 - 後藤智文

議会や議会だよりについてのみなさんご意見・ご感想は

立山町議会内
議会だより係

TEL 462-9984(直通)
TEL 463-1121(代)
FAX 464-1118